

# 人事の“あの業務”が変わる！

健診後の業務負担を削減し、真に成果を出す方法

株式会社インテグリティ・ヘルスケア

代表取締役社長 園田 愛

ウェルビーイング事業部 事業部長 中 克宣

ご協力のお願い

- 質問はチャットへ投稿をお願いします
- アンケートにご回答いただいた方に、以下の資料を差し上げます

① PHR活用参考書

「2025年『健康経営度調査票』いま確認すべきポイント」

② 人事・総務500社アンケート結果

## 本日の講演

- **人的資本経営の死角：  
なぜ、健診後の“あの業務”が経営の「見えない負債」なのか？**

株式会社インテグリティ・ヘルスケア  
代表取締役社長 園田 愛

- **「抽出・勧奨・把握」の3大業務を最適化！  
500社の実態から見えた、現場を楽にするテクノロジー活用術**

株式会社インテグリティ・ヘルスケア  
ウェルビーイング事業部事業部長 中 克宣

# 人的資本経営の死角： なぜ、健診後の“あの業務”が 経営の「見えない負債」なのか？

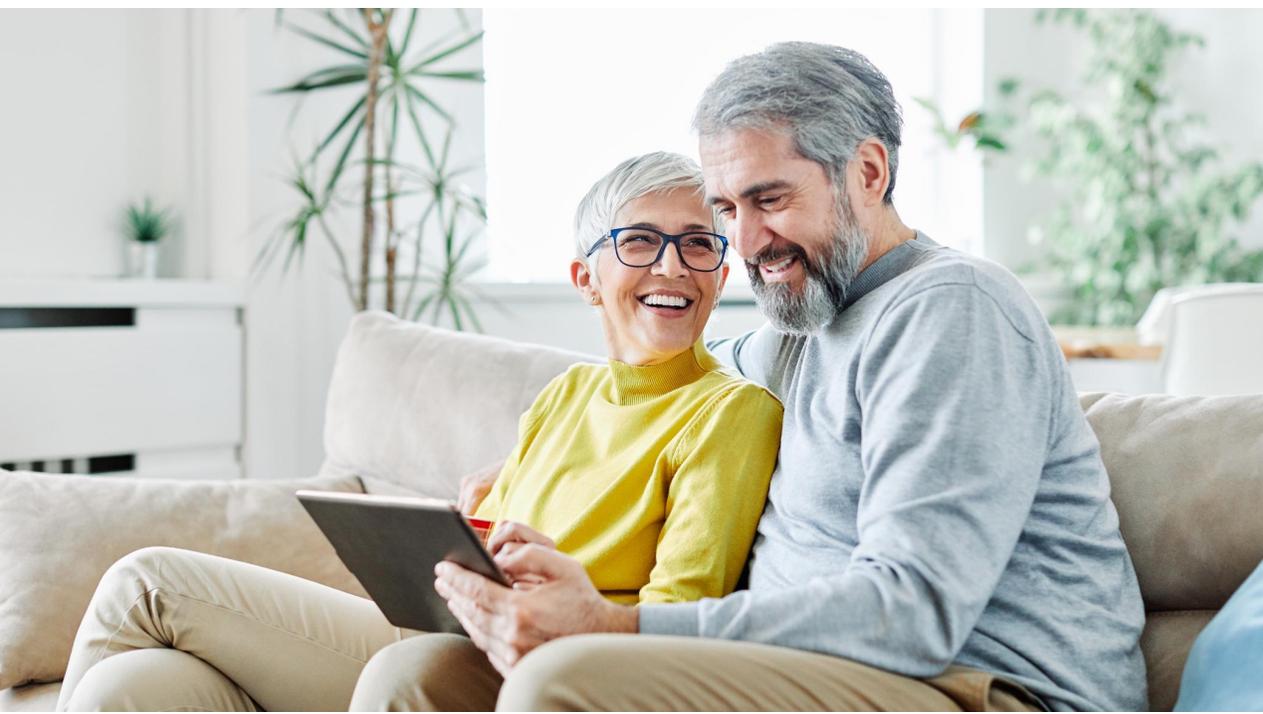
株式会社インテグリティ・ヘルスケア  
代表取締役社長 園田 愛



ぬくもりのある医療を、  
100年先も、ずっと。

**Warmful Healthcare**  
**for the next 100 years & ever.**

会社名	株式会社インテグリティ・ヘルスケア Integrity Healthcare Co., Ltd.
設立	2009年10月
事業内容	<b>デジタルを活用した新しい医療モデルの創造</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ デジタルプラットフォーム事業</li><li>○ ウェルビーイング事業</li><li>○ DCT事業</li></ul>
ライセンス	医療機器製造販売業(第二種) JISQ27001:2023(ISO/IEC27001:2022)(ISMS)
グループ会社	株式会社DCT Japan
主要株主	NTTプレジジョンメディシン株式会社







働きながら  
治療をする人の割合

40%

有給休暇の  
取得理由

遊び・趣味

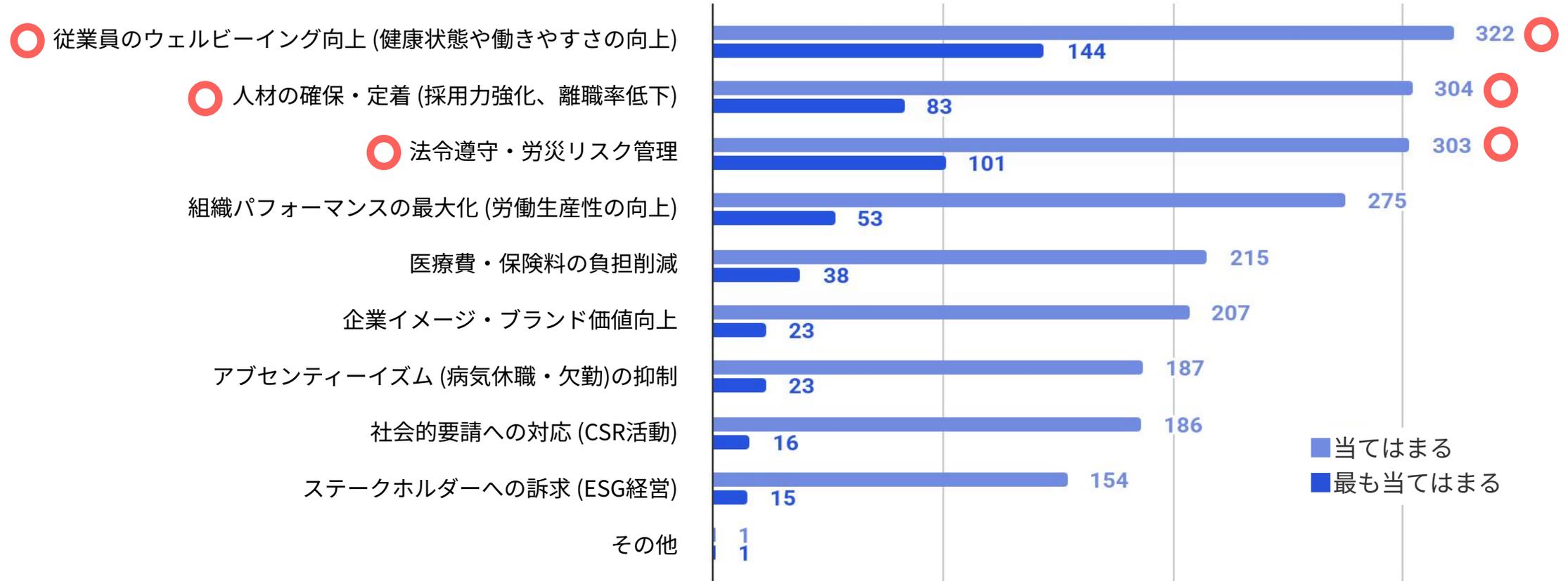
体調不良/通院

子どもの行事



## 従業員の健康管理に取り組む動機、理由

ウェルビーイング向上、人材の確保・定着、法令順守・労災リスク管理を目的に取り組む企業が多い



出典：500社 企業人事・労務アンケートより (2025年5月 当社実施)

事例「昨日まで元気に働いていた社員が、急に長期休暇に」  
50代 / 男性 / 人事部 健康推進課 課長 からの相談



勤務先

全国展開の食品加工・販売会社（従業員数 約3,000名）

背景と課題認識

- ある40代社員が心筋梗塞で**倒れて長期休職**に。上司・同僚ともに異変に気づいていなかった。後から振り返ってはじめて、健康診断で血圧が200あったことを確認。
- その後も**40代～50代の社員の突発的な離脱が増加傾向**に。やはり健康診断では異常が見受けられた。
- 健康経営には取り組んでおり、健診結果後の受診勧奨も一定行っているが、なかなか成果を挙げられていないと自覚しており「何かしなければ」と危機感を持っている。
- 日頃は、メンタル対応や全国の職場環境整備で忙しい。担当者の人数も少なく、健診後のフォローアップまで手が回らない。

## その他のご相談事例（業界別）

### IT/情報 サービス

社会のDx化に伴い、繁忙状況が続く。そのような中3年間で10人以上の社員が離脱し、死亡例も複数でた。振り返ると健診結果が悪かった。健康経営優良法人として健診後フォローなどの取り組みをしているにも関わらず、成果が挙げられなかった。トップから「最重要事項」として、フィジカル面での健康施策に取り組むようCHROに指示あり。

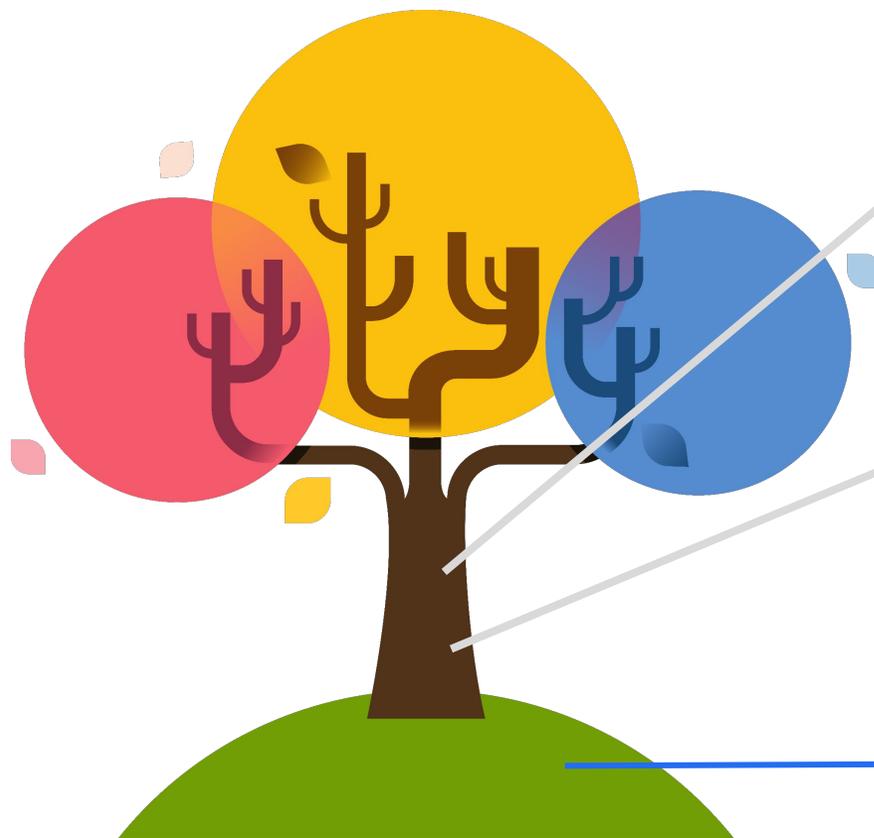
### 製造業

工場で働く単身赴任の男性が多く、安全靴を履いて毎日数万歩歩くような職場。しかし統計によると40-50代の方が脳卒中、心筋梗塞等で戦線離脱、中には死亡例もあり、振り返ると健診結果が悪かった。単身に起こりがちな食生活の乱れなど、もっと注意できれば、、、

### 飲食/小売/ サービス

シフト制で朝から深夜までの勤務。特に繁忙期は体調よりもシフト優先で、休日はひたすら体を休めるような過ごし方。40-50代の脳卒中、心筋梗塞等での離脱が複数あり、いずれも健診結果が悪かった。本人や家族にとって大変なことであると同時に、経営としても一人倒れたら数千万円の機会損失であり、重要な経営課題。  
全国の数百店舗にまたがる全社員に対して対応策を打っていきたい。

健康はコストではなく「インフラ」である  
人的資本への投資は「3つの領域」に分類され、健康はすべての土台となります



### 能力開発（スキル・経験）

人材価値の増大（リスクリング、DX教育など）  
スキルを活かすための「土台となる活力」

### エンゲージメント

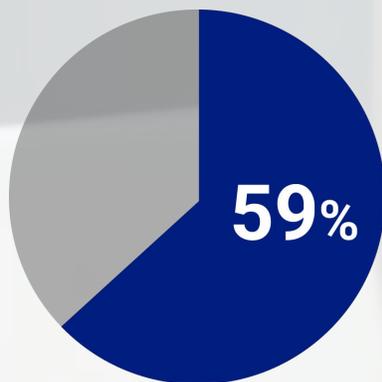
パフォーマンスの最大化  
（公正な評価、働きがいなど）  
モチベーションが生まれる「心身の基盤」

### 健康・安全（ウェルビーイング）

リスクの低減と土台の強化  
（安全衛生、メンタルヘルスなど）  
すべての資本を支える「インフラ」

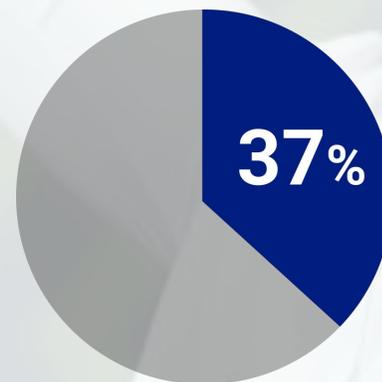
経営の「見えない負債①」：  
放置される「再検査未受診」の壁

健康診断において「要再検査」の有所見者は6割ほど。  
しかし、**3人に1人はそのまま放置**している



定期健康診断における  
有所見者の割合（全国平均）

出典：厚生労働省「労働衛生のしおり」（令和6年度版）



健康診断で異常所見が見つかった  
人のうち、二次検査を受診した人の  
割合

出典：日本ベーリンガーインゲルハイム、日本イーライリ  
リー プレスリリース 2023年10月

再検査を受診せず、未治療のまま放置→  
突然の休職など、「アブセンティーズム」の発生要因に

経営の「見えない負債②」：  
人事部門を疲弊させる「治療継続」の壁

- 働く人の約4割が、何らかの通院を必要としている
- 多くの人々が「有給休暇」を使って通院

治療の中断 → 業務中のパフォーマンス低下、  
「プレゼンティーズム」の発生要因に

## 提言① 通院のバリアフリー化： 心理面へのアプローチ

### July 17 「病気休暇 (シックリーブ)」や 「健康特別休暇」の導入

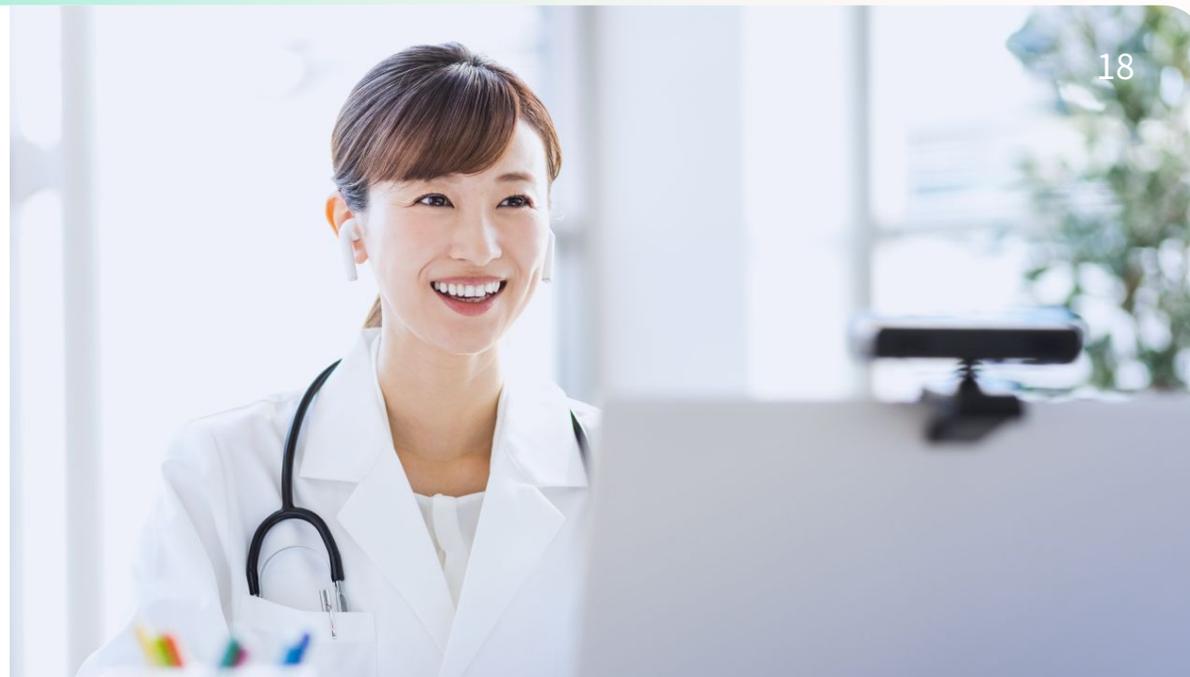
- 「有給を使って通院するのは当たり前」という文化を破壊することで社員の心理的ハードルを下げ、治療継続を後押し
- 経営層を巻き込み、トップダウンの全社的な取り組みとして組織全体へ浸透させることで、制度を形骸化させない例も



提言① 通院のバリアフリー化：  
物理的なアプローチ（環境整備）

## オンライン診療の導入＋ 勤務時間内で受診を可能に

- 待ち時間がなく時間や空間の制約がないためスキマ時間での受診を可能に
- 受診勧奨時に「まずはオンライン診療、そこから重要度に応じた治療継続や紹介」と相談先を明確にする効果も



## 提言②：受診勧奨の自動化と効率化

### 💡 未受診リスクが高い層への アプローチを最適化・自動化

- 健診結果のデータ入力や有所見者のリストアップなど、機械的な事務作業には適切なツールを導入することで労力を削減・効率化
- フォローに必要な従業員とのコミュニケーションなど、本質的な業務にリソースを振り分ける



## 受診フォロー業務（イメージ）



業務内容

各自のデータを参照し、検査異常値の人を抽出

産業医から対象者リストを受け取り

対象となる従業員へ個別に連絡

受診結果返送用紙を社内便/郵送などで送付

報告内容を参照し、管理システムへ入力

ツール/チャンネル

 健診結果  
[紙、PDF]

リスト[紙]

 電話  
 メール

返送用紙

システム

感情



対象者を間違えないよう注意



流出などの事故に注意が必要



返信なし・不通の場合も散見



返信なし・不通の場合も散見



データ入力に追われる

## 提言②：受診勧奨の自動化と効率化

### 💡 未受診リスクが高い層への アプローチを最適化・自動化

- 健診結果のデータ入力や有所見者のリストアップなど、機械的な事務作業には適切なツールを導入することで労力を削減・効率化
- フォローに必要な従業員とのコミュニケーションなど、本質的な業務にリソースを振り分ける



まとめ：第二部へ向けて

- **社員の健康は「人的資本を支えるインフラ投資」**
- **未受診者を減らすことで、経営の「見えない負債」を解消**

当社の実施した「全国500社のアンケート結果（＝現場の現実）」を用いて、  
その原因と具体的な解決策をご紹介します

# 「抽出・勧奨・把握」の3大業務を最適化！

500社の実態から見えた、  
現場を楽にするテクノロジー活用術

株式会社インテグリティ・ヘルスケア  
ウェルビーイング事業部 事業部長 中 克宣

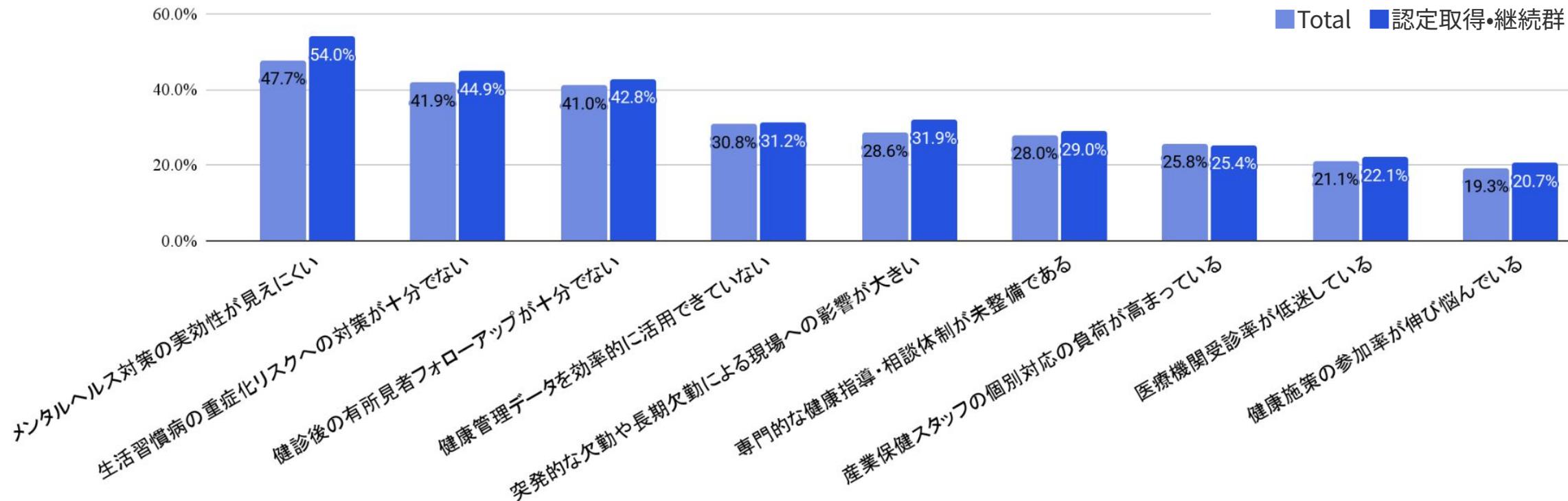
## 第一部を受けて

- **社員の健康は「人的資本を支えるインフラ投資」**
- **未受診者を減らすことで、経営の「見えない負債」を解消**

一方で、現場では…多くの企業で、人事担当者様に疲弊が起きている

当社の実施した「全国500社のアンケート結果（＝現場の現実）」を用いて、  
その原因と具体的な解決策をご紹介します

## 「従業員の健康管理」で対策が必要と思われるもの



出典：500社 企業人事・労務アンケートより（2025年5月 当社実施）

4割を超える企業が「メンタルヘルス対策の実効性が見えにくい」「生活習慣病の重症化リスクへの対策が十分でない」「健診後の有所見者フォローアップが十分でない」を選択

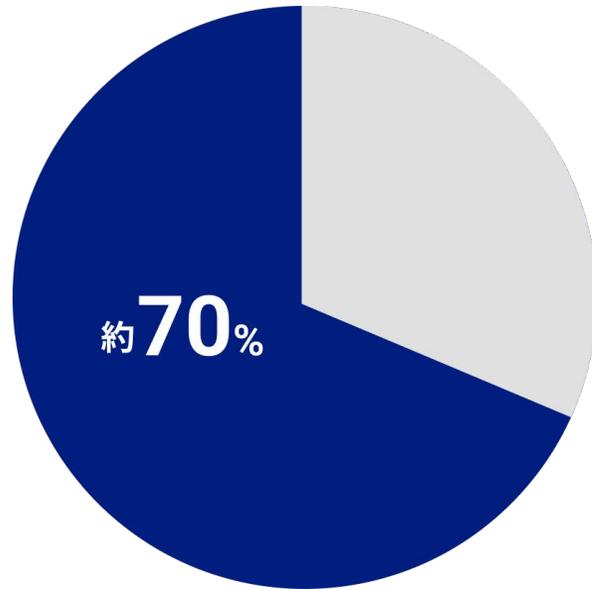
投票へのご協力をお願いします

**Q：健診後のフォロー業務になんらかの課題を感じていますか？**

「はい / いいえ / どちらでもない」いずれかを選択してください  
(回答者は特定されません)

## 健診後のフォロー業務の実施状況（受診が必要な従業員への受診勧奨、受診実態の把握）

Q. あなたの勤務先における「健診後のフォロー業務」について、当てはまるものをお選びください。

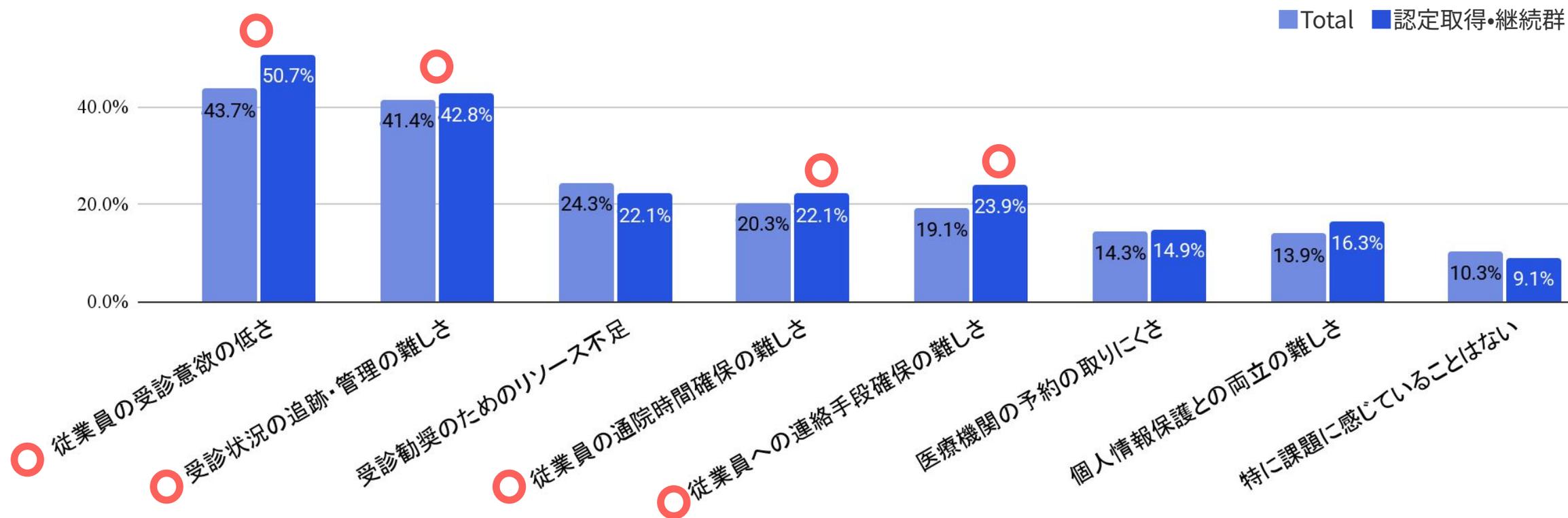


- 何らかの課題を抱えている（受診者が少ない / 受診状況の把握ができていない / 受診勧奨ができていない、など）
- フォローの体制が確立されており、大半の対象者が受診している

出典:500社 企業人事・労務アンケートより(2025年5月 当社実施)

70%の企業で、フォロー業務が十分にできていない

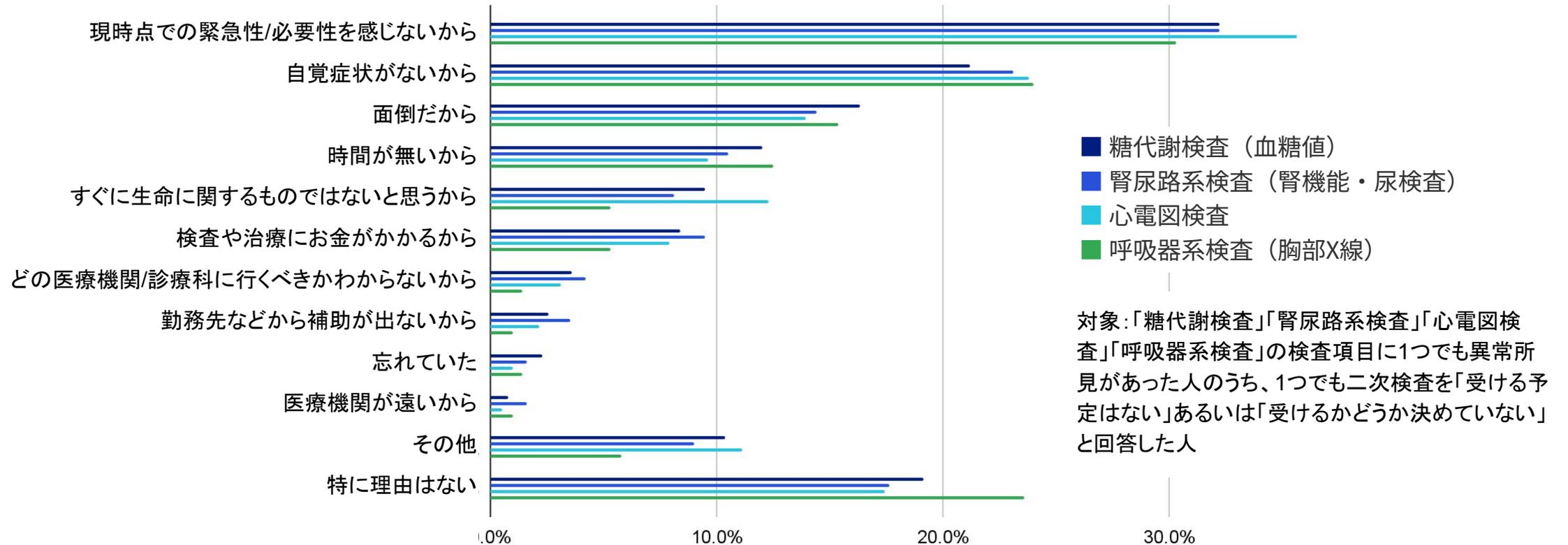
## 健診後のフォロー業務で困っていること



出典：500社 企業人事・労務アンケートより（2025年5月 当社実施）

「従業員の受診意欲の低さ」「受診状況の追跡/管理の難しさ」を  
感じている企業が4割以上

## 再検査・精密検査・治療を受けない理由

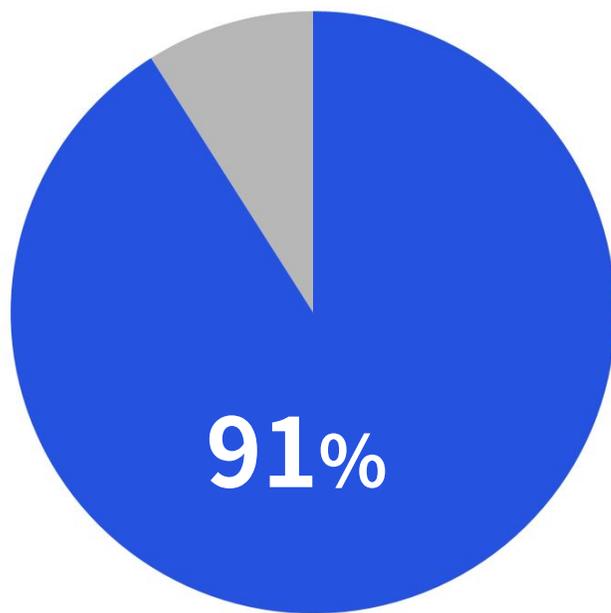


出典：日本ベーリンガーインゲルハイム、日本イーライリリー プレスリリース 2023年10月

「現時点での緊急性/必要性を感じていない」「自覚症状がない」という理由が多い  
心電図・X線の画像系は受診を見送る傾向あり

参考：健診後フォローの重要性～二次検査が治療のきっかけに

Q.再検査や精密検査を受けたことが、治療を行うきっかけになっていますか。



■ 二次検査が治療のきっかけになった

■ 治療のきっかけになっていない

対象：「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部X線)」の検査項目のうち1つでも異常所見があり、「医療機関を受診して、再検査/精密検査/治療を受けた」かつ「薬物治療を行った(行っている)」または「今後行うことが決まっている」1,580人

\*回答した検査項目のうち、1つでも「治療のきっかけになっている」「やや治療のきっかけになっている」と回答した場合、「治療のきっかけになっている」に集計

出典：日本ベーリンガーインゲルハイム、日本イーライリリー プレスリリース 2023年10月

薬による治療を「行った(行っている)」「今後行うことが決まっている」方の約90%が「二次検査が治療のきっかけになった」と回答

## 人事担当者が抱える、健康管理の課題

「健診受診率の向上」「2次健診の受診率向上」を深堀していくと、  
そもそも受診率を管理できていないケースも多くあることが分かりました



健康診断の予約状況や  
受診状況の管理ができていない



健診結果を紙やPDFで管理しており  
データ化されていない



2次検査(2次健診)の受診勧奨が大変  
メールや郵送物はなかなか見てくれない



受診勧奨しても受診してくれない  
または、実際に行ったか管理できていない  
(通知を送りっぱなし、次年度もまた受診勧奨の対象に)

💡 「明日から使える」業務負荷軽減・成果向上 TIPS

3つのフェーズに分けて課題を分析し、打ち手を検討

① 抽出



"D判定"だけを抽出するExcelルールを決めて共有し、毎年の業務を効率化する など

② 勧奨



「治療開始者の91%は、二次健診がきっかけです」という事実など、伝え方やロジックを変更してみる など

③ 把握



受診報告の形式をシンプルなWebフォーム(Googleフォーム等)にすることで、メールや電話の返信を不要にする など

## 「スマートワンヘルス」の健康経営に対するアプローチ



スマートワンヘルスでできること

従業員の皆さまと医療を、ITとデータでつなぎます



**リモート企業内診療所**

PCやスマホから  
医療機関を受診

**Smart One Health**

健診データ

歩数

食事

お薬

血圧

体重



**企業ご担当者様**

受診勧奨 /  
受診結果の追跡・管理



## 解決策①：対象者の抽出/把握にかかる工数の削減

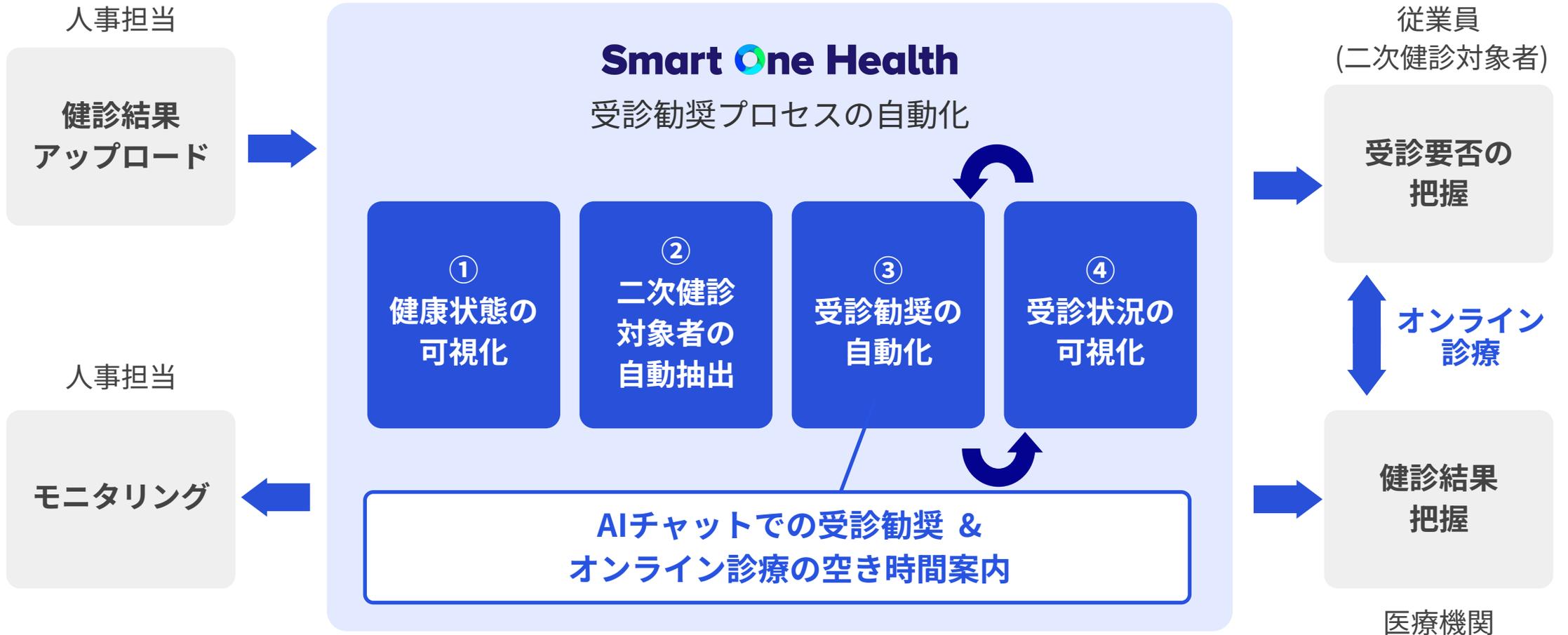
A社（社員数50名）のスマートワンヘルス導入事例：約91%の業務時間削減に成功

業務フロー	導入前	導入後	削減率
健診結果の収集と管理	約8.5時間	約0.5時間	約94%削減
産業医による就業判定のサポート	約1.3時間	約0.8時間	約38%削減
労働基準監督署の報告書作成	約5時間	約1分	約99.7%削減
<b>合計（1回あたり）</b>	<b>約14.8時間</b>	<b>約1.3時間</b>	<b>約91%削減</b>

### 解決策②：受診勧奨にかかる業務の効率化

開発中

AIを活用し、抜け漏れなく要受診者を確実にフォローする仕組みを提供。  
業務負担を軽減しながら、オンライン診療との連携により、二次健診の受診率向上を実現します。



### 解決策③：「通院の壁」と「モチベーション」の解消

スマートワンヘルスのオンライン診療では、**アプリで取得した健康データ[PHR]**を**医師へ共有**できます。医師と伴走する仕組みにより、従業員の皆さまが治療を継続できるようモチベーション維持に貢献します。

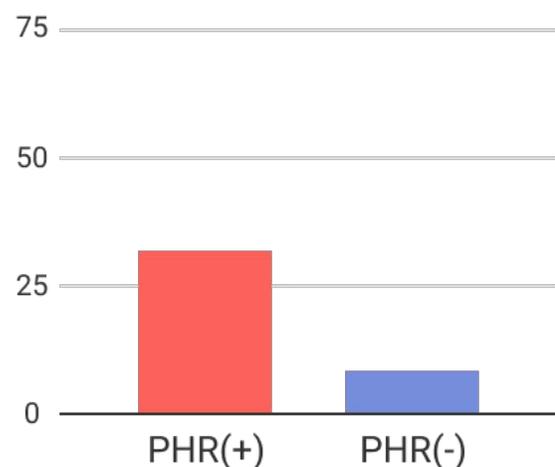


参考：オンライン診療+PHRの組み合わせで、モチベーションを維持

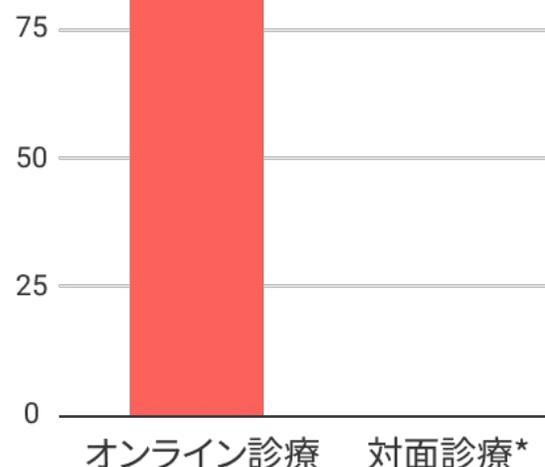
PHRを「オンライン診療」と連携した場合、**健康のための行動を継続する患者の割合は80%に。**

行動変容継続率 (%)

特定保健指導



PHR (+)



PHRを医師によるオンライン診療と組み合わせて活用することによる、行動変容の継続率（健診データを見なおす行動）は80%

\*特定保健指導とPHRの組み合わせでは30%

\* 継続中の試験のため結果は明らかにされていない

出典: 令和4年度 厚生労働科学研究費補助金「パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究」 研究報告書（概要版）より作成

健康データを専門家と共有し対話する「伴走型」の支援が、  
利用者のモチベーションを高く維持する鍵であることを示しています

## オンライン診療で対応できる疾患

生活習慣病をはじめとする幅広い疾患に対応しています。  
スマートワンヘルス提携の医療機関は「リモート企業内診療所」として、ご家族も利用可能です。



その他、花粉症・発熱・睡眠時無呼吸症候群など、多くの疾患に対応しております\*。

\*医師の診断により、通院治療を勧める場合がございます

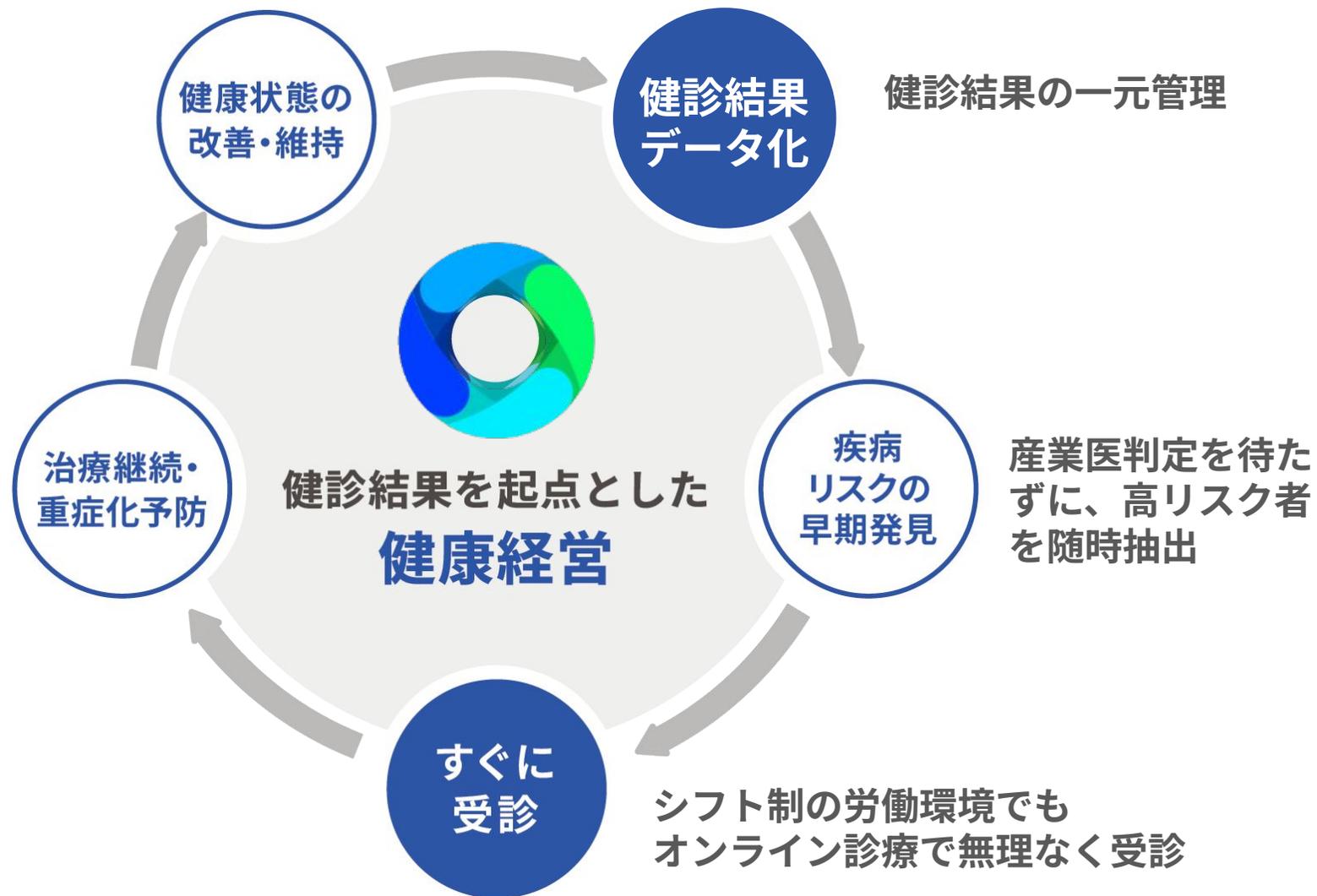
## 活用事例：カップ・クリエイト株式会社

課題：

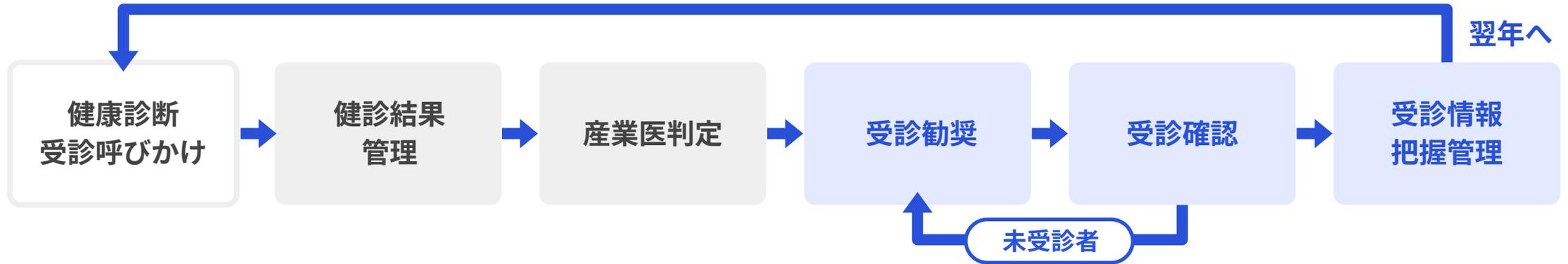
アブセンティーズム  
による損失の低減

突然長期休暇に入る従業員の健診結果を振り返ると、数値に異常があった

\*アブセンティーズム：健康問題による欠勤（病欠）

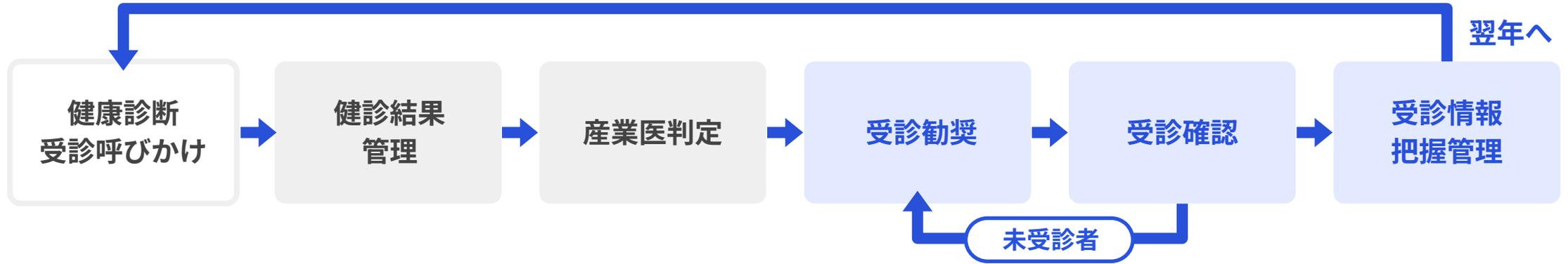


## 受診フォロー業務（イメージ）



業務内容	各自のデータを参照し、検査異常値の人を抽出	産業医から対象者リストを受け取り	対象となる従業員へ個別に連絡	受診結果返送用紙を社内便/郵送などで送付	報告内容を参照し、管理システムへ入力
ツール/チャンネル	📄 健診結果 [紙、PDF]	📄 リスト[紙]	☎ 電話 ✉ メール	📄 返送用紙	💻 システム
感情	😞 対象者を間違えないよう注意	😟 流出などの事故に注意が必要	😓 返信なし・不通の場合も散見	😓 返信なし・不通の場合も散見	😞 データ入力に追われる

## 受診フォロー業務（イメージ：スマートワンヘルス活用時）



業務内容	各自のデータを参照し、検査異常値の人を抽出	産業医から対象者リストを受け取り	対象となる従業員へ個別に連絡	受診結果返送用紙を社内便/郵送などで送付	報告内容を参照し、管理システムへ入力
ツール/チャネル	<b>Smart One Health</b>				
感情	😊 AIが対象者を自動で抽出	😊 システム内で情報提供が完結	😊 チャットで連絡、自動で再通知	😊 受診結果は自動反映	😊 医療機関と連携、受診データを自動で同期

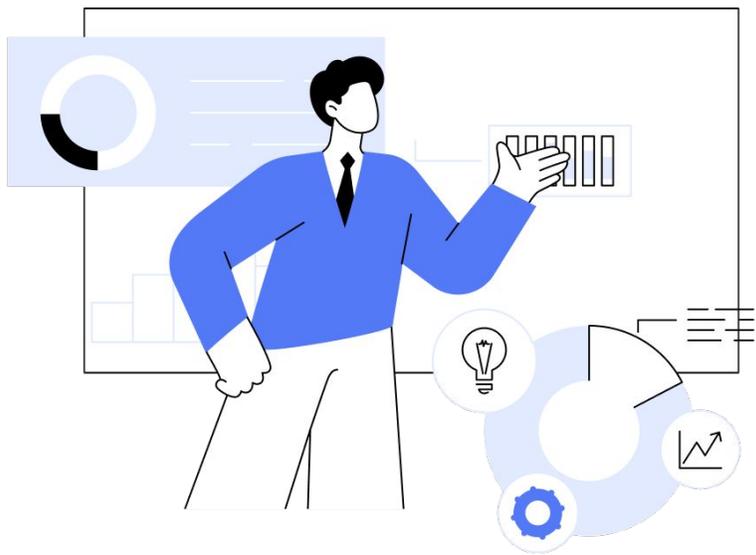
## 本日のまとめ

- 健診後フォローは「インフラ投資」であり、未受診者を減らすことで経営の「見えない負債」を解消
- 今すぐできる取り組み:
  - ① 「病気休暇（シックリーブ）」「オンライン診療」など、従業員のハードルを下げる施策の検討
  - ② 「抽出・勧奨・把握」の3つのフェーズに分けて課題を分析し、打ち手を検討
  - ③ テクノロジー活用(仕組み化)によるリソース確保の検討



**Integrity  
Healthcare**

アンケートご協力をお願い



アンケートにご回答いただいた方に、  
以下の資料を差し上げます

- ① **PHR活用参考書**  
2025年『健康経営度調査票』  
いま確認すべきポイント
- ② **人事・総務500社アンケート結果**

本日はご視聴ありがとうございました